

事例の種類・名称	事例の種類	事例の名称			
	【共同発注】	大阪河南地域7水道事業による水道営業業務等の共同業者選定			
事業規模等 (富田林市)	給水人口 : 106,572 人 職員数 : 【直営】 35 人	1日最大給水量 : 33,539 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 32 人	給水面積 : 39.72 km ² ※数字は、令和6年3月31日時点
事業規模等 (羽曳野市)	給水人口 : 105,162 人 職員数 : 【直営】 29 人	1日最大給水量 : 34,161 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 11 人	給水面積 : 26.33 km ²
事業規模等 (柏原市)	給水人口 : 67,526 人 職員数 : 【直営】 31 人	1日最大給水量 : 23,926 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 11 人	給水面積 : 11.62 km ²
事業規模等 (大阪広域水道企業団)	給水人口 : 57,841 人 職員数 : 【直営】 14 人	1日最大給水量 : 17,601 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 8 人	11.92 km ² ※大阪狭山水道事業
	給水人口 : 12,760 人 職員数 : 【直営】 5 人	1日最大給水量 : 4,088 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 1 人	7.07 km ² ※太子水道事業
	給水人口 : 14,697 人 職員数 : 【直営】 7 人	1日最大給水量 : 5,319 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 0 人	12.65 km ² ※河南水道事業
	給水人口 : 4,726 人 職員数 : 【直営】 4 人	1日最大給水量 : 2,137 m ³ /日	【第三者委託】 0 人	【委託】 1 人	9.83 km ² ※千早赤阪水道事業
スキーム等					<p>各事業者の手法や考え方、委託内容を尊重した共同業者選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 公募型プロポーザル方式における優先交渉事業者決定までの選定事務を富田林市へ委託 ※地方自治法に依拠しない事務委託 ◆ プロポーザル資料の構成 <ul style="list-style-type: none"> ① 実施要領 … 共通化 ② 提案評価基準 … 共通化 ③ 仕様書 … 個別作成 ◆ 優先交渉事業者との契約交渉・締結は個別実施
経緯	<p>令和3年12月 : 水道営業業務等の共同発注について近隣事業者への意向確認 令和4年4月～ : 参画事業者での共同発注会議を定例開催(2か月1回程度) 令和4年6月 : 「水道営業業務等の共同業者選定に係る業務に関する基本協定書」締結 令和4年7月 : 「富田林市、羽曳野市、柏原市及び大阪広域水道企業団(大阪狭山水道センター、太子水道センター、河南水道センター及び千早赤阪水道センター)における水道営業業務等の共同業者選定に係る協定書」締結</p> <p>令和5年4月 : 公募型プロポーザル募集公告 令和5年7月 : 優先交渉事業者決定 令和5年8月～ : 順次、優先交渉事業者と契約締結</p>				
共同発注のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 官民双方の体制強化 ◆ 水道事業者間のスキル・知見の共有 ◆ 魅力ある業務スキーム・規模の実現 ◆ 官民双方の事業者選定事務の効率化 ◆ 将来的に標準化可能な業務による費用抑制 				
共同発注のデメリット	<p>①現在までの課題… ・共同業者委託の実現までに、多くの協議時間を要した ・業務内容を統一していないことから、共同業者発注によるスケールメリットは、あまり得られていない</p> <p>②今後想定される課題… ・今回の共同化の取組みは、業務仕様等はそれぞれの団体のままで、業者選定だけを共同で行っているが、今後は、関係者間での調整や協議を重ね、業務仕様等の統一化など、営業業務のあり方を整理する必要がある。 ・持続可能な仕組みづくりをすすめるためには、協議会等の仕組みの構築が必要</p>				
業務形態	<p>水道施設管理業務等の共同業者選定 … 公公連携</p> <p>〔個別業務名〕</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 富田林市水道事業水道料金徴収等業務 (2) 羽曳野市水道事業水道料金徴収等営業関連業務 (3) 柏原市水道事業水道料金徴収等業務 (4) 大阪狭山水道事業水道料金徴収等業務 (5) 太子水道事業水道メーター検針等業務 (6) 河南水道事業水道メーター検針等業務 (7) 千早赤阪水道事業水道メーター検針等業務 				